

平成22年度 事業計画

財団法人一橋大学後援会

財団法人一橋大学後援会は、平成22年度においてその目的を達成するため、寄附行為第4条各号の規定に基づき次の事業を実施する。

事業計画総額 107,836千円

I 一般事業 40,000千円

1. 教育・学術研究活動に対する助成 [第1号事業] 29,200千円

- (1) 教員海外派遣費 5,000千円
*海外の研究機関等で調査・研究・資料収集等を行うための出張旅費。
*今年度の助成は、2部局（商研、法研）とする。
- (2) 研究経費 6,600千円
*EU研究事業への助成
*助成内容は、本学に設置する拠点事務室の管理業務者雇用経費。
- (3) 大学運営等経費 5,540千円
*大学及び各部局運営を円滑に推進するための経費助成。
*助成内容は、各種会費、会議費、各種活動費等の支援。
- (4) 学生教育等支援経費 12,060千円
- ①学生相談支援事業 8,939千円
*学生支援センター「学生相談室」に配置するカウンセラーと、受付インテーカー（臨床心理士等の専門性を持ち、相談に来る学生の相談内容やメンタル的な状況を的確に把握し、カウンセラーに引き継ぐ）の雇用経費の助成。
- ②就職支援事業経費 3,121千円
*キャリア支援室が実施する総合ガイダンス、弁護士等によるコンプライアンス研修、インターシップを主としたキャリア支援等、各種の取組みへの助成。

2. 教育・研究の国際交流に対する助成 [第2号事業] 3,600千円

- (1) 外国人講師招聘等事業経費 2,400千円
- ①海外著名研究者等招聘事業 0千円（助成なし）
*ノーベル賞受賞者級研究者を招聘し講演会等を実施する事業。
*平成22年度は3件の招聘を計画しているが、事業費は、平成21

年度からの繰越金を充当する。(このため助成額はなし)

②外国人講師セミナー事業 2, 400千円

* 研究科及び研究所で実施する各種セミナーの助成。

* 各部局(公共政策大学院含む)に配分し、1件当たり5万円を補助。

(2) 学術国際交流事業経費 1, 200千円

* 海外の学術交流協定締結機関との各種交流に必要な経費助成。

* 助成内容は、各種会合経費や記念品購入費等。

3. 研究成果の刊行に対する助成 [第3号事業] <助成なし>

4. 教育・研究施設の拡充整備に対する助成 [第4号事業] 5, 200千円

(1) 研究環境整備充実経費 5, 200千円

* 左右田文庫(約8, 100冊)の保存修復事業(5年計画の3年目)。

5. 課外教育の振興に対する助成 [第5号事業] <助成なし>

6. 教職員・学生の福利厚生に対する助成 [第6号事業] <助成なし>

7. その他、必要な事業助成 [第7号事業] 2, 000千円

(1) 非図書資料の整備・電子化事業 2, 000千円(5年計画の4年目)

* 図書館が所蔵する貴重な非図書資料(本学研究者の講義テキスト、手稿類、課外活動資料等)を長期保存の措置を講じ、社会に向け情報発信し公開する事業の助成。

* 平成22年度の作業は、福田徳三・大塚金之助関係資料が中心。

II 特定事業 67, 836千円

○寄附者の意向等に沿った事業

1. 特定事業費(A) 武山基金 [第3号事業該当] 3, 500千円

* 教員の研究出版経費助成事業。

* 主に若手教員を対象とし、3件分(1件当たり100万円)の助成。

2. 特定事業費(B) 学問風土育成基金 [第1号事業該当] 300千円

* 学生教育支援経費助成事業。

* 助成内容は、如水会協力による「寄附講義」の講義要綱印刷等。

3. 特定事業費（C）課外教育振興基金〔第5号事業該当〕 13,906千円

*課外活動拠点整備経費助成事業。

*課外サークル（14団体）への物的・財的な援助。

4. 特定事業費（D）吹野基金〔第1号事業該当〕 48,000千円

*特定研究助成事業（全学的な共同研究）。

*共同研究テーマは「東アジアの安定的発展と日本の役割」であり
研究計画期間は、平成20年度から3年計画で3年目の助成。

5. 特定事業費（E）植樹会基金〔第7号事業該当〕 200千円

*大学のキャンパス緑地計画助成事業。

6. 特定事業費（F）障害学生支援基金〔第1号事業該当〕 1,500千円

*障害学生支援助成事業。

*大学の支援計画に基づく各種事業の助成。

7. 特定事業費（G）大学史編纂基金〔第7号事業該当〕 430千円

*大学史編纂支援助成事業。

*平成22年度創設。大学史編纂のための各種事業の助成。

以上